

令和6年度は、創立150周年です。



令和7年
3月

さいたま市立木崎小学校 学校だより

きざき

令和7年2月28日（金）

TEL048-831-2281

<http://kizaki-e.saitama-city.ed.jp/>

E-Mail kizaki-e@saitama-city.ed.jp

感情との付き合い方

校長 石川 顕一

校地内の梅が咲き始めました。桜の芽が膨らんできたように見えます。生命みなぎる春がやってきました。

学校は新年度に向け準備を進めているところです。次年度の変更点は主に次の2点です

- ① 校外学習の目的地や移動手段の変更を行います。
- ② 朝の時間（8:30～8:45）の「学級の時間」を「学習の時間」に変更します。

さて、私たち人間はどんな時でも様々な感情をもちながら生活をしています。そして、その感情はその時々で異なるものです。例えば、用意してくれた食事を前にした時、何かしらの感情が湧いてきます。「また、いつものおかずか」と不満に思ったり、「いつもありがとう」と感謝したりとその時々で湧いてくる感情が異なります。誰もが感謝の感情をもちたいと願うものですが、時には感謝ではなく不満の感情が湧いてしまいます。このように湧いてくる感情は自分自身で抑え込んだり、コントロールしたりすることはできません。

また、この感情は人から人へと伝播しやすいものです。怒りっぽい人と一緒にいると、なんだか自分も怒りっぽくなります。逆に穏やかな人と一緒にいると、その場の空気自体が穏やかになります。良い意味でも悪い意味でも、感情は人から人へ伝わっていくのです。

では、このような特徴をもつ感情と、どのように付き合っていけばいいのでしょうか。

感情のコントロールに関しては、「感情は自制できない」と認識することや、「今、望ましくない感情が湧いてきた」と客観的に捉えることが重要です。そうすれば、感情に任せた行動が多少なりとも減少します。いかなる感情が湧いてきても、冷静に行動できることが期待されます。

また、感情の伝播性についてですが、快い感情がうつるのは大歓迎です。問題なのは悪い感情です。悪い感情が伝播するのを避けるためには、その場やその相手から距離を取って、自分の心を落ち着かせることです。

時々によって、どんな感情が湧くかは異なります。①この湧いてくる様々な感情を客観的に捉えること、②悪い感情の発生源から離れることを積み重ね、よい1日をつくり、よい1年をつくることよい人生につながっていくと思っています。集団生活が営まれている小学校では、知識・技能の学習とともに、自己の感情に気付き行動を統制する能力も重要だと考えています。なぜならば、自分の感情とうまく付き合えることで、未来は笑顔あふれるものになるからです。



▲6年生を送る会（引継式）

令和6年度は、創立150周年です。



生活目標 すみずみまでぴかぴかに掃除しよう

日	曜	主な行事		下校時刻
1	土			
2	日			
3	月	学級の時間	委員会	通常通り
4	火	さわやか朝会		通常通り
5	水	G・S		通常通り
6	木	G・S		通常通り
7	金	朝読書		通常通り
8	土			
9	日			
10	月	学級の時間	安全の日、クラブ活動	通常通り
11	火	お話朝会	避難訓練、教育相談日	通常通り
12	水	G・S		通常通り
13	木	G・S		通常通り
14	金	学級の時間	ありがとう集会	通常通り
15	土			
16	日			
17	月	学級の時間	クラブ活動	通常通り
18	火	音楽朝会		通常通り
19	水	G・S	通常4時間授業、卒業式予行 給食最終日	13:40頃下校
20	木		春分の日	
21	金	表彰朝会	通常3時間授業	11:50頃下校
22	土			
23	日			
24	月	お別れ式	卒業式	1~5年8:35頃下校 6年11:50頃下校
25	火	学級の時間	通常3時間授業	11:50頃下校
26	水	学級の時間	通常3時間授業、修了式	11:50頃下校

スクールファンド

さいたま MYSCHOOL ファンドとは、さいたま市の教育を応援したい方とさいたま市立学校・さいたま市の教育施策をつなぎ、さいたま市「ふるさと応援」寄附を活用した仕組みです。今年度、本校ではプログラムチャイムの購入に充てました。ご支援ありがとうございました。

トイレ床面コーティング

学校配当予算を用いて、1階保健室前トイレの床面コーティングを行いました。今後も計画的に校内環境改善を進めてまいります。



学年末休業日 3月27日(木)~3月31日(月) 春季休業日 4月1日(火)~4月7日(月)

登下校の安全を支えるのは保護者と地域の力

日頃より、子どもたちの安全な登下校を見守り、ご協力いただいている地域の皆様、保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

子どもたちが安心して登下校できるよう、学校・保護者・地域が協力し、安全確保に努めております。しかし、子ども同士の関わりの中で、時にはトラブルが起こったり、安全面での課題が生じたりすることもあります。

一般的に、登下校の安全確保については学校の責任と思われがちですが、**基本的には保護者の責任**であると、中央教育審議会でも整理されています。また、日常的・直接的な見守り活動は、地方自治体や保護者、地域の皆様とともに担うべきものであるとされています。しかし、こうした共通理解が十分に共有されないまま、「学校に責任がある」と考える保護者(地域)と学校との間で、すれ違いが生じることがあります。

私たちは、地域ぐるみで子どもたちの安全を守ることが大切であると考えています。学校としても、関係機関との連携や安全教育を通じて、子どもたちの安全意識を高める取組を行っております。しかし、日常的な見守りや登校班の編成、登下校時の安全確保には、保護者・地域の皆様の力が不可欠です。

「地域みんなで子どもを守る」——この考えのもと、引き続き子どもたちの安全のために、皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。